

加入実績

金額単位：億円

区分	項目	計画	5年度	計画対比	前年度	
		共済金額 A	共済金額 A'	金額 A'/A	共済金額	
漁業共済	1号漁業	67.0	70.2	104%	70.8	
	2号漁業	漁船漁業	821.0	847.6	103	828.9
		定置漁業	366.0	366.1	100	357.8
		小計	1,187.0	1,213.7	102	1,186.7
	計	1,254.0	1,283.9	102	1,257.5	
	特定養殖共済	藻類	43.0	44.3	103	46.4
		貝類等	100.0	109.0	109	100.2
		計	143.0	153.3	107	146.6
	漁業施設共済	養殖施設	9.0	9.8	108	9.3
		定置網	49.0	47.8	97	48.7
計		58.0	57.6	99	58.0	
合計	1,455.0	1,494.8	102	1,462.1		
地域共済(休漁補償)		5.0	4.8	96	5.0	
総合計		1,460.0	1,499.6	102	1,467.1	
件数		8,251	7,553	91	7,591	

共済金支払実績

金額単位：億円

区分	項目	5年度	前年度	前年度増減	
		金額	金額	金額	
漁業共済	1号漁業	3.26	3.40	△ 0.14	
	2号漁業	さんま棒受網	10.10	12.34	△ 2.24
		小型合併	8.63	9.85	△ 1.22
		ほたて貝桁網	5.25	3.98	1.27
		すけとうだら刺し網	0.76	1.39	△ 0.63
		かに籠	0.70	1.64	△ 0.94
		一般底びき籠	0.58	2.63	△ 2.05
		いか釣り	0.39	1.93	△ 1.54
		上記以外の漁船	0.91	0.79	0.12
		漁船計	27.32	34.55	△ 7.23
		さけ大型定置(秋)	38.04	11.70	26.34
	小型定置	4.20	3.00	1.20	
	上記以外の定置	0.90	0.44	0.46	
	定置計	43.14	15.14	28.00	
	小計	70.46	49.69	20.77	
計	73.72	53.09	20.63		
特定養殖共済	藻類	2.38	4.05	△ 1.67	
	ほたて貝等	0.59	2.11	△ 1.52	
	上記以外の養殖	0.05	0.38	△ 0.33	
	貝類等計	0.64	2.49	△ 1.85	
計	3.02	6.54	△ 3.52		
漁業施設共済	養殖施設	0.18	0.43	△ 0.25	
	定置網	0.50	0.37	0.13	
	計	0.68	0.80	△ 0.12	
地域共済(休漁補償)		0.06	-	0.06	
総合計		77.48	60.43	17.05	
件数		1,808	2,369	△ 561	

無事故払戻金支払実績

金額単位：億円

区分	項目	5年度	前年度	前年度増減	
		金額	金額	金額	
漁獲共済	1号漁業	0.05	-	0.05	
	2号漁業	漁船漁業	0.26	0.30	△ 0.04
		定置漁業	0.50	0.52	△ 0.02
		小計	0.76	0.82	△ 0.06
計	0.81	0.82	△ 0.01		
特定養殖共済	藻類	0.11	0.11	0.00	
	貝類等	0.07	0.01	0.06	
	計	0.18	0.12	0.06	
合計		0.99	0.94	0.05	
件数		147	200	△ 53	

ぎよさい「令和五年度事業実績」まとまる
加入実績は二年連続で事業計画達成

五月十七日に開催された本年度の第一回理事会で、令和五年度事業報告および令和六年度事業計画の設定が審議され、六月十三日開催の通常総会議案として提出することが決まりました。

令和五年度決算に基づく加入実績は、共済金額で一千四百九十九億六千万円と、事業計画の一千四百六十億円を上回り達成することができました。

前年度実績に対しては、主要漁業の補償水準(共済限度額)の上昇等により、

前年度実績と比較しますと、漁獲共済は、2号漁業で漁船漁業のうち、小型合併、さんま棒受網等で休廃業や補償水準が下降しましたが、ほたて貝桁網で補償水準が上昇し、新規加入もあつたこと、また定置漁業のうち、春さけ定置や小型定置で休廃業がありました。

一方、支払実績は、共済金で七十七億四千八百万円、無事故払戻金で九千九百万円となり、前年度の共済金、無事故払戻金をあわせた六十一億三千七百万円と比較しますと、十七億一千万円増加しました。

三月十二億五千万円増加しました。

特定養殖共済では、ほたて貝等養殖で休廃業がありました。また、補償水準が上昇したこと、新設された「ほや」で新規加入があつたこと等により全体で六億七千万円増加しました。

また、漁業施設共済は、定置網で一部新規加入があつたものの、休漁や契約の脱落により四千万円減少しました。

なお、全国の加入実績は共済金額で七千四百三十七億円、支払実績は共済金で二百七十一億円となっており、北海道は加入実績で二十%、支払実績でも二十八%を占めています。

積立ぶらす「令和五年度引受・払戻等の実績」まとまる

令和五年度の引受実績は、件数で四千六百五十五件、金額（漁業者積立申込金額）で九十三億九千三百万円となり、前年度より二十七件減少、金額では二億六千四百万円増加しました。

一方、払戻実績は、件数で二千二百三十六件、金額（漁業者・国の払戻補てん金合計）で百八十九億九千三百万円となり、前年度より五百二十二件減少、金額では五十二億三千四百万円増加しました。

ぎょさいの支払共済金と合わせますと二百六十七億四千一百万円となり、前年度より六十九億三千九百万円増加しました。

なお、資源管理・漁場改善に取り組む漁業者に対する共済掛金の追加補助は、二十七億六千四百万円となり、前年度より三億七千二百百万円増加しました。

積立ぶらす引受・払戻等の実績

1. 引受実績表

金額単位：億円

区分	項目	5年度A		前年度B		A-B		A/B (%)		
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
漁獲共済	1号漁業	59	2.91	58	2.86	1	0.05	101	101	
	2号漁業	漁船漁業	2,205	23.31	2,210	22.87	△ 5	0.44	99	101
		定置漁業	891	60.25	924	58.21	△ 33	2.04	96	103
		小計	3,096	83.56	3,134	81.08	△ 38	2.48	98	103
	計	3,155	86.47	3,192	83.94	△ 37	2.53	98	103	
特定養殖共済	藻類	612	1.70	610	1.73	2	△ 0.03	100	98	
	貝類等	888	5.76	880	5.62	8	0.14	100	102	
	計	1,500	7.46	1,490	7.35	10	0.11	100	101	
合計		4,655	* 93.93	4,682	91.29	△ 27	2.64	99	102	

金額は、漁業者積立申込金額である。

*新型コロナウイルスの影響に伴う特例措置による積立免除金額1.93億円を含む。

2. 払戻実績表

金額単位：億円

区分	項目	5年度A		前年度B		A-B		A/B (%)		
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
漁獲共済	1号漁業	34	7.45	100	4.66	△ 66	2.79	34	159	
	2号漁業	漁船漁業	1,006	34.05	1,294	27.85	△ 288	6.20	77	122
		定置漁業	709	142.53	509	94.06	200	48.47	139	151
		小計	1,715	176.58	1,803	121.91	△ 88	54.67	95	144
	計	1,749	184.03	1,903	126.57	△ 154	57.46	91	145	
特定養殖共済	藻類	339	3.50	416	4.95	△ 77	△ 1.45	81	70	
	貝類等	148	2.40	439	6.07	△ 291	△ 3.67	33	39	
	計	487	5.90	855	11.02	△ 368	△ 5.12	56	53	
合計		2,236	* 189.93	2,758	137.59	△ 522	52.34	81	138	

金額は、払戻補てん金（漁業者1：国3）の合計である。

*新型コロナウイルスの影響に伴う特例措置による積立免除金額1.26億円を含む。

3. 共済掛金追加補助

金額単位：億円

区分	項目	5年度A		前年度B		A-B		A/B (%)	
		純掛金	追加補助	純掛金	追加補助	純掛金	追加補助	純掛金	追加補助
漁獲共済		77.56	25.39	67.61	22.03	9.95	3.36	114	115
特定養殖共済		8.54	2.25	7.44	1.89	1.10	0.36	114	119
合計		86.10	27.64	75.05	23.92	11.05	3.72	114	115

令和六年度の取組み

「ぎょさい・積立ふらす」の一層の浸透・定着を

本年度についても厳しい漁業環境が続くと思われる、一部魚種で補償水準の低下が懸念されるところですが、漁業経営のセイフティーネットとして「ぎょさい・積立ふらす」がその機能を十分発揮できるように、一層の浸透・定着を推進して参ります。また、「ぎょさい・積立ふらす」の制度見直しの検討については、TAC魚種の拡大や資源管理協定への移行等を含めその動向を注視し、現行制度から後退することがないよう、漁協・系統団体・行政と連携し取り組むと共に、アルプス処理水の海洋放出に伴う風評被害賠償金については、国の指針等に基づき適切な対応に努めて参ります。なお本年度の加入計画は、共済金額を一千四百八十五億円と定め、重点加入推進項目は次の三点と致します。

- ① 継続契約における補償内容の充実
(積立ふらすとのセット加入)
 - ② 未加入地域における主要漁業・養殖業の解消
 - ③ 定置漁具(漁業施設共済)の加入拡大
- 引き続き、ご理解とご協力を賜ります様、お願い申し上げます。

令和6年度事業計画(案)

区 分		項 目		件 数	共 済 限 度 額 又 は 共 済 価 額	共 済 金 額	共 済 掛 金	
							純共済掛金	附加共済掛金
漁 業 共 済	漁 獲 共 済	1 号 漁 業		件	億円	億円	千円	千円
		68	75	67	397,000	58,000		
		2 号 漁 業	漁 船 漁 業	2,355	1,011	842	4,633,000	449,000
			定 置 漁 業	737	412	368	2,908,000	271,000
			小 計	3,092	1,423	1,210	7,541,000	720,000
	計	3,160	1,498	1,277	7,938,000	778,000		
	特 定 養 殖 共 済	藻 類	648	53	42	199,000	21,000	
		貝 類 等	932	195	101	596,000	86,000	
		計	1,580	248	143	795,000	107,000	
	漁 業 施 設 共 済	養 殖 施 設	2,493	20	10	36,000	5,000	
定 置 網		340	100	50	129,000	44,000		
計		2,833	120	60	165,000	49,000		
合 計		7,573	1,866	1,480	8,898,000	934,000		
地域共済(休漁補償)				28	5	5	7,000	5,000
総 合 計				7,601	1,871	1,485	8,905,000	939,000

漁獲共済の集団加入における件数は1集団1件、漁業施設共済の養殖施設における件数は幹縄1本当たり1件である。

ぎよさい
積立ぶらす

安心

経営

